

読む力はいつ芽生えるのか

When does learning to read start?

神経生物学と発達科学の視点から読字障害の早期発見を考える

Neurobiology, Development, and Early Identification of Reading Disabilities

2025年

10月16日(木)

14:00-16:00

教育学部第三・第四会議室(管理棟2階)と
Zoomミーティングのハイブリッド開催

※ 逐次通訳あり

読みの学習は、子どもが学校に入学したその日から始まるのではなく、就学前の幼少期からすでに始まっている。

本講演では、発達認知神経科学の最前線で活躍するNadine Gaab氏(ハーバード大学)が、読みの習得に関わる脳の発達や言語環境の重要性について、神経科学的・発達の観点から解説する。特に、ディスレクシアをはじめとする読みの障害のリスクをいかに早期に見出し、適切な支援につなげるかについて、最新の研究に基づいた知見が共有される。

すべての子どもが公平に学ぶために、就学前からのリテラシー支援のあり方を再考する。

13:30 受付

14:00 開会挨拶(間瀬 茂夫)

14:05 講演(ハーバート大学・Nadine Gaab氏)

15:45 質疑応答

15:55 閉会挨拶(川合 紀宗)



- 主催: 広島大学教育ヴィジョン研究センター(EVRI)
- 共催: 広島大学ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進機構
- お問い合わせ先: 広島大学教育ヴィジョン研究センター(EVRI)
- ◀ QRコード等からお申込みください。参加申込みをいただいた方には、セミナーへの参加に必要な情報を追ってご連絡いたします。